

三年組番氏名

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	
曾子曰く、 「我日に 吾が身を 三省しな か。」「と。	子曰く、父 母の年は 知らざる べからず。 一は喜ば るべし。則ち	子曰く、「過 ぎたるは猶ほおよ び。」と。	子曰く、「三人行け ば必ず我が師 有り。其の善き者 を捉ひて之に從 む。」「とその善 からざる者は之 を改む。」「と。	子曰く、「君子は諸 を己に求む、小人 は人を人に求む、	子曰く、「君子は義 に喻り、小人は利 に諭する。」「と。	子曰く、「過ちて改め ざる、是れを過ち と謂う。」「と。	子曰く、「君子は言に 訥にして、行いに敏 ならんことを欲す。 」と。	子曰く、「巧言令色、 鮮し仁。」「と。	子曰く、「何時君 子の儒と為れ、小 人の儒と為るか。 」と。	
曾子が言った。「私は毎日何度となく自分の言葉や行動について反省する。人の世話をすると同時に忠実な心で行動したか。友人とのつきあいに信義を欠いたことは無かったか。先生から教わったことで自分がまだ十分理解しないことw、口先だけで他人に伝えたことはなかったか。」	孔子が言った。「両親の年齢はおぼえていなければいけない。ひとつは、親の健康を気遣うためである。ふたつは、ひととは親の健康を気遣うためである。」「	孔子が言った。「やりすぎは物足りないのと同じことだ。」「	孔子が言った。「三人づれて道を行くと、その中に必ず自分の師とすべき人がある。よい人を選んでそれを見習い、よくない人は、私が身に照らしめて自分自身を改める。」「	孔子が言った。「君子は事の責任・原因を自分に求めるが、小人は他人に求め、責任を転嫁する。」「	孔子が言った。「人格者は人として正しい生き方をよく理解していて、利益についての備わってよく理解している。」「	孔子は言った。「過ちをしなくても改めない。これを本当の過ちという。」「	孔子が言った。「心にないお世辞を言うたり、他人に気に入られようとする顔つきや態度をする人には真実の心（仁）はないものだ。」「	孔子が言った。「心にもないお世辞を言うたり、他人に気に入られようとする顔つきや態度をする人には真実の心（仁）はないものだ。」「	孔子が子夏に向かって言った。「お前は天下の人を救うという大きな志を修めなさい。単にものごとを知っているというだけの小さい学問を修めるだけではいけないよ。」「	
書き下し文		意味								